

## 授業作文上達の「学習用語」と系統的指導法

### 1 「書くこと」領域での子供の実態

全国学力・学習状況調査での記述式問題の無回答が道内には多いらしい。記述力の低さが実態だからだ。管見だが、毎時間の授業で記述させていない、表現させていないのが原因だ。日常的にノートへ書かせる授業，一時間の中で自分の考えを書かせる授業，授業後に授業の学びを書かせる授業への改善が喫緊の課題である。

### 2 授業作文（言語活動）の価値

授業の中で自分の考えを書かせると授業改善になる。更に，授業後に学びを書かせると，より学習内容が習得できる。「授業での学びを書く作文」を「授業作文」と呼ぶ。授業作文を書かせると，授業での学びがより定着し，より習得できる。

授業作文は国語科だけでなく，国語科以外の教科内容の習得にも役立つ，各教科等で活用できる言語活動である。以下，国語と国語以外との価値を紹介する。

#### （1）国語科での授業作文の価値

国語科では，授業作文を通して，国語科の教科内容（以下，「学習用語」）習得に役立つ。授業作文と授業作文以外の「学習用語」の習得に授業作文が役立つ。国語科で授業作文上達のための「学習用語」を習得させると，国語科や国語科以外で活用できる。

#### （2）国語科での授業作文の価値

国語科以外では，授業作文を通して各教科等の「学習用語」習得に役立つ。理科や社会科で学んだ「学習用語」を授業作文として書かせるとより確かに習得させられる。授業終わりの 10 分間程度で書かせたり，単元終了後単元で特に何を学んだかを書かせたりする。例えば，社会科で国内の農業生産を学習し終えてから，国内の農産物の輸入の実態とその対策のための自分の考えを授業作文として書かせると習得を確実にし思考・判断・表現力も育成できる。

### 3 授業作文の方法

#### （1）授業内で書かせる授業作文

本時の学びを授業終末 10 分間程度で書かせる。「今日の学びを書く。～」初めはこれで良い。書き出し例を提示して，工夫して書かせると更に向上する。

#### （2）授業後に書かせる授業作文

今日の学びを家庭で書かせる授業作文や単元終了後に単元全体の振り返りをさせるために数時間で書かせる授業作文が有る。国語科だけでなく，例えば，算数科や家庭科で習得した「学習用語」を授業作文に書かせるとよい。課題解決の成果としての表現活動に使える。

### 4 授業作文上達のための「学習用語」例

『鍛える国語教室』16 号で授業作文の実践事例，17～18 号で系統的指導法を提案した。

### 5 授業作文の系統化

各学校で習得させたい「学習用語」を決める。それを出来るだけ，低学年から指導する。すると中・高・中学で反復でき，活用できる。（詳細は上記書に有る。口頭で発表する。）

## 国語科学習指導（案）～『自分の頭で考える？』（教出中 1）～

平成 25 年 1 月 11 日（金）16 時 10 分～17 時 00 分

旭川勤労者福祉会館，柳谷直明

1 **指導目標** 説明文の読解（言語活動）を通して読解と授業作文上達のための「学習用語」を習得させ，各教科等で活用できるようにする。

2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下「学習用語」。「学習用語」をゴシック体にして，網を掛ける。）

□ **言語活動 1 読解**

（1）補助符号——**鉤**。（2）品詞——**活用形（未然形，連用形，終止形，連体形，仮定形，命令形），動詞，形式名詞，連体詞，接続詞，接続助詞**。（3）文章——**題名，引用，文種，説明的文章，要約，要旨**。（4）段落——**文，字下げ，改行段落，小段落，大段落，段落相互，序・本・結，接続関係（順接，逆接，比較，判断，原因，例示，理由，具体，抽象，結論）**。（5）記述法——**文体（敬体，常体），接続助詞の削除，簡潔，箇条書き**。（6）読書法——**メモ，リライト，置換**。（7）説明構成例——**大段落の構成（序論・本論・結論），指示語，指示内容，代入，話題，判断（肯定，否定，疑問），価値，批評，主張，課題提示，課題解決**。

□ **言語活動 2 授業作文**

**一字下げ，引用，疑問，意見，接続詞，学び**を指導し，行為させる。

3 本時の展開（0.4 / 4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
7分	1 <b>メモ</b> 『プランくん』にメモし 乍ら読む。	1 <b>説明的文章の確認</b> <b>文種，説明的文章，論説文，筆者，要約， 要旨</b> の理解を評価し，指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書教材 90 ページ，『プランくん』+ 原稿用紙（A3）を配付する。</li> <li>・読解を通して「学習用語」を指導する。</li> <li>・授業作文で習得させる。</li> <li>・「学習用語」使用で評価。</li> </ul>
35分	2 <b>題名の読解</b> 「？」は何か。 「自分の」は要るのか。	2 <b>題名の読解</b> <b>疑問，意見</b> をメモさせる。	
	3 <b>リライト</b> 『自分の頭で考えなさい。』 こう言われる場合がある。」	3 <b>リライト</b> <b>本文</b> の 1 文目を 2 文に書き換えさせる。 『自分の頭で考えなさい。』と言われることがある。」	
8分	4 <b>「こと」の置換</b>	4 <b>「こと」の置換</b> 「こと」を具体的に する練習をさせる。	
	5 <b>指示語を読む</b> 短い 2 文にする。	5 <b>指示語を読ませる</b> <b>連体詞「そんな」の指示内容</b> を読ませる。	
	6 <b>構成を読む</b> <b>一字下げ，改行，大きな 切れ目，文章構成</b> を読む。	6 <b>構成を読ませる</b> <b>小段落，大段落</b> を指導する。 <b>序論，本論</b> を決めさせる。	
	7 <b>主張の批評</b>	7 <b>主張を批評</b> させる	
	8 <b>授業作文</b> 「学習用語」を使う。 他者の <b>作文</b> を称える。	8 <b>授業作文</b> <b>一字下げ，引用，疑問，意見， 接続詞</b> を指導し，行為させる	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

「学習用語」を習得させ，筆者の主張を読み取らせたか。